

□ 令和5年度 名護中央公民館講座

「災害への備え」

～強いまちづくりを目指して～

日時： 令和5年7月16日(日)
10:00～12:00

場： 名護中央公民館 第1,2研修室

対象： 一般・親子(小4年生以上)

参加： 申込15名(当日申込10名) *参加人数24名/1名キャンセル

講師： ^{たいら}平良 ^{まもる}守 氏 (大中区 防災士) (株)エイト日本技術開発沖縄事務所



【講座終了後アンケートより】22名回答

◎講座を受講しての感想・意見等がありましたらお書き下さい。

- ・防災キャンプを行う際、今日の知識を活かしたい。
- ・地元、名ゴ市や身のまわりの環境、状態について知ることができた。
- ・詳しい資料を元に説明いただき大変勉強になりました。自分の住んでいる所をしっかりと見て知ることが大事であると感じました。ありがとうございました。
- ・見えないものは無いのではなく常に存在している災害も見えていないだけですぐそばに有るものだと考え災害に備えていきたいと思います。
- ・防災について改めて日々意識をもって頭の隅において生活することが大事だなということに気づかされました
避難＝逃げる
- ・災害前の対策や心構えが準備に関してはよく分かった。災害発生時から直後の対策対応について行政・地域民間企業のあり方をお聞きしたかった。
- ・初めてお話をきいて、わかりやすくてひなんの準備をしようと思いました。
- ・さっそく防災グッズをそろえなければと思いました。
- ・防災意識・知識が高まる貴重な講話でした、平良氏の思いが伝わるわかりやすい内容であつという間の時間でした。誰も死んではならない知識を備えの大切さを改めて感じた。ありがとうございました。
- ・とてもわかりやすい講話ありがとうございました。まずは自分の地域を歩いてみたいと思います。
- ・名ゴの地形にもとづいてのお話だったのでとても興味深く聞く事ができた。個人の意識だけではなかなか難しいので、名ゴ市から地域にリーダーをおくなど、行政からののはたらきかけが必要では？と思いました。
よいお話ありがとうございました。
- ・自分の住んでいる地域の環境整備の状態を知っておく必要が大事だと確認できました。
マイ防災避難シートを参考に備えていきたいと思います。今日は本当にありがとうございました。
- ・講師の「災害で1人でも死んではいけない」熱い思いは伝わりました。
内容が難しい(地質学、気象学の基礎的な知識がない)内容に専門性が強い。
基礎的知識がないとそれにしても難しい。起きている現象が理解できないことは分かりますがそれにしても難しい。また、地域防災は官民の連携重要性に共感。
- ・防災の知識がより高まった
- ・子どもと受けることで、防災を話すきっかけをつくる事ができました^^加えて、子どもが関心を示すところ知れたので、より効果的におとしこむことができると思います。がんばります。
- ・地域(身のまわり)のことを知ることが大切であることがわかった。水害の内水について知ることができて良かった。
- ・無いに越した事はない災害ですが、例えば意識する事で備える事で被害を最小限にする事や二次、三次災害を防ぐ事はできるのかな？と思いました。ネガティブにならず、いざという時の「想定」というのは大事ですな親子で話し合ったり体験する事を改めて考えてみたいと思いました。
- ・災害への備えを自分の身の丈に合ったやり方がよくわかった。マイ避難シートをまず作成したい。
- ・平良さん本日はありがとうございました。サブタイトルに感動しました。「災害で誰も死んではいけない」この言葉で一日も早く大中区も防災組織つくりましょうね。皆で心を合わせて!!平良さん思い伝わります。
- ・感激しました
- ・二億年前になごの地ができた。ないすい、がいすいがわかった。(小4)

◎次に希望する講座について、ご意見がありましたらお書きください。

- ・天体観測
- ・座学だけではなく、実地での防災講座があるとよいなと思いました。災害マップづくり（親子）
- ・アダンの葉など沖縄の草でのぼうしやカバン作りアロマ教室
- ・北部の自然観測など良いと思います。 ・室内、ベランダでできる園芸
- ・沖縄のハーブ（月桃等）を使った料理やクラフト講座 ・家族でできる疲労回復マッサージ
- ・家庭で意識するだけでも役に立つ栄養学 ・沖縄のハーブ（月桃等）を使った料理やクラフト講座

◎この講座に関して何か改善して欲しい所はありますか？

- ・名ゴ市のハザードマップや計画と比較するといいいと思いました。
- ・講師の話しが固定マイクに向けてなのですが、指向性有って拾わないで聞きにくい。
- ・ハザードマップを見ながら自分の住んでいる土地を確認できるとよかった（タブレット等で）
- ・資料ありがとうございました。印刷4分割、2分割にするとページが少なくてすむかも。ページ記載あるとわかりやすいかもです。 ・配布資料は事前にチェックをお願いします。
- ・地表、地質分布図等の資料がカラーコピーの方が解りやすいかな!
- ・うまく運営できている自主防災組織の事例を知りたい。
- ・改善ではないのですが、集まるスタイルではなく地域や学校で講座を開いて頂けたら嬉しいなと思いました。

開催希望曜日

土曜日	7
日曜日	4
回答なし	11

何で知りましたか

チラシ・ポスター	6
家族・知人	15
その他	1

お住まいの地域

宮里	4
大中	3
安和	3
宇茂佐	3
大東	3
大西	1
伊佐川	1
我部祖河	1
許田	1
勝山	1
回答なし	1

参加者について

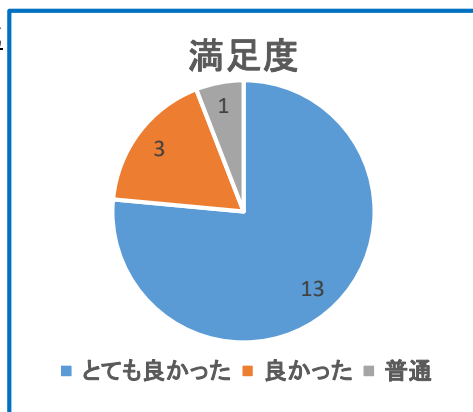
年代	
30歳～39歳	1
40歳～49歳	3
60歳～69歳	4
50歳～59歳	10
70歳以上	2
回答なし	2

希望時間帯

10時～12時	8
13時～15時	4
15時～17時	2
回答なし	8

性別

女	15
男	7



☆担当所見

講師(平良氏)がこれまでに起きた災害地域で経験した知識や、必要なこと、感じたことを分かりやすく伝え、「災害で誰一人死んではいけない」という思いを熱く話してくれました。地形・地質や地区における災害の可能性と発生要因や地域の弱点などを知ることと、常に自分のすんでいる地域(区)を歩きながらいつもとは違う目線で周りを見守り、パトロールすることで、避難路の確保(事前対策)ができることと、また、安全確保されている避難所を確保することの重要性、自分の命、自自分の安全を守る、自分たちのまちは自分で守ると、「自助」・「共助」の意識を高めることの重要性を強く強く感じた講座になりました。また、防災講座については定期的に続けていくことの必要性を強く感じました。

□ 令和5年度 名護中央公民館講座

「災害への備え」
～強いまちづくりを目指して～

日 時 : 令和5年7月16日(日)
10:00~12:00

場 所 : 名護中央公民館 第1,2研修室

対 象 : 一般

申込15名(当日申込10名) *参加人数24名

講 師 : ^{タイラ}平良 ^{マモル}守 (大中区 防災士) (株) エイト日本技術開発沖縄事務

【講座終了後アンケートより】22人回収

◎講座を受講しての感想・意見等がありましたらお書き下さい。

- ・防災キャンプを行う際、今日の知識を活かしたい。
- ・地元、名ゴ市や身のまわりの環境、状態について知ることができた。
- ・詳しい資料を元に説明いただき大変勉強になりました。自分の住んでいる所をしっかりと見て知ることが大事であると感じました。ありがとうございました。
- ・見えないものは無いのではなく常に存在している災害も見えていないだけですぐそばに有るものだと考えつつ災害に備えていきたいと思えます。
- ・防災について改めて日々意識をもって頭の隅において生活することが大事だなということに気づかされました。避難=逃げる
- ・災害前の対策や心構えが準備に関してはよく分かった。災害発生時から直後の対策対応について行政・地域・民間企業のあり方をお聞きしたかった。
- ・初めてお話をきいて、わかりやすくてひなんの準備をしようと思いました。
- ・さっそく防災グッズをそろえなければと思いました。
- ・防災意識・知識が高まる貴重な講話でした、平良氏の思いが伝わるわかりやすい内容であつという間の時間でした。誰も死んでではない知識を備えの大切さを改めて感じた。ありがとうございました。
- ・とてもわかりやすい講話ありがとうございました。先ずは自分の地域を歩いてみたいと思います。
- ・名ゴの地形にもとづいてのお話だったのでとても興味深く聞く事ができた。個人の意識だけではなかなか難しいので名ゴ市地域にリーダーをおくなど、行政からのほたらきかけが必要では?と思いました。よいお話ありがとうございました。
- ・自分の住んでいる地域の環境整備の状態を知っておく必要が大事だと確認できました。マイ防災避難シートを参考に備えます。今日は本当にありがとうございました。
- ・講師の「災害で1人でも死んではいけない」熱い思いは伝わりました。内容が難しい(地質学、気象学の基礎的な知識が)内容に専門性が強い。基礎的知識がないと起きている現象が理解できないことは分かりますが、それにしても難しい。地域防災は官民の連携重要性に共感。
- ・防災の知識がより高まった
- ・子どもと受けることで、防災を話すきっかけをつくる事ができました^^加えて、子どもが関心を示すところを知れたのでより効果的におとしこむことができますと思います。がんばります。
- ・地域(身のまわり)のを知ることが大切であることがわかった。水害の内水について知ることができて良かった。
- ・無いに越した事はない災害ですが、例えば意識する事で備える事で被害を最小限にする事や二次、三次災害を防ぐ事はできると思います。ネガティブにならず、いざという時の「想定」というのは大事ですね。親子で話し合ったり体験する事を考えてみたいと思いました。
- ・災害への備えを自分の身の丈に合ったやり方がよくわかった。マイ避難シートをまず作成したい。
- ・平良さん本日はありがとうございました。サブタイトルに感動しました。「災害で誰も死んではいけない」この言葉で一日も早く大中区も防災組織つくりましょうね。皆で心を合わせて!!平良さん思い伝わります。
- ・感激しました
- ・二億年前になごの地ができた。ないすいがいすいがわかった。(小4)

大人 22人
満足度
とても良かった 13
良かった 3
普通 1

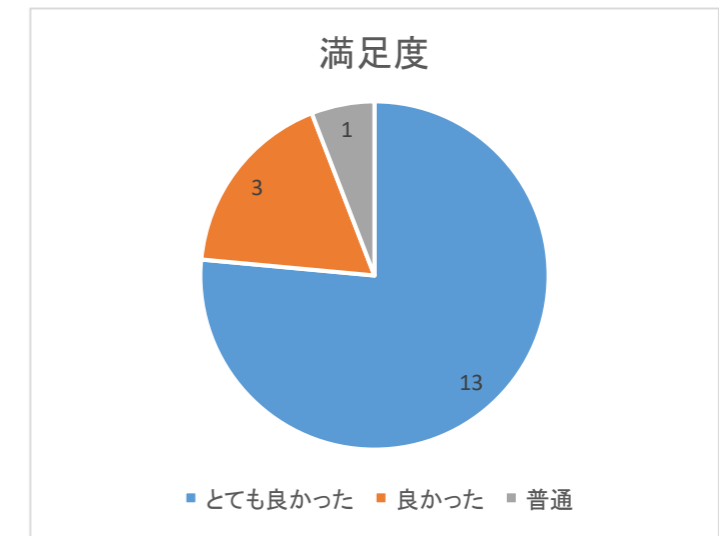
何で知りましたか
チラシ・ポスター 6
家族・知人 15
その他 1
22

性別
女 15
男 7

開催希望曜日
土曜日 7
日曜日 4
回答なし 11

希望時間帯
10時~12時 8
13時~15時 4
15時~17時 2
回答なし 8

参加者について
年代
30歳~39歳 1
40歳~49歳 3
50歳~59歳 4
60歳~69歳 10
70歳以上 2
回答なし 2



◎次に希望する講座について、ご意見がありましたらお書きください。

- ・天体観測
- ・座学だけではなく、実地での防災講座があるとよいなと思いました。災害マップづくり（親子で、、とか）
- ・アダンの葉など沖ナワの草でのぼうしやカバン作りアロマ教室
- ・北部の自然観測など良いと思います。
- ・室内、ベランダでできる園芸
- ・家族でできる疲労回復マッサージ
- ・家庭で意識するだけでも役に立つ栄養学
- ・沖縄のハーブ（月桃等）を使った料理やクラフト講座

お住まいの地域

宮里	4
大中	3
安和	3
宇茂佐	3
大東	3
大西	1
伊佐川	1
我部祖河	1
許田	1
勝山	1
回答なし	1

◎この講座に関して何か改善して欲しい所はありますか？

- ・名ゴ市のハザードマップや計画と比較するといいいと思いました。
- ・講師の話しが固定マイクに向けてなのですが、指向性有って拾わないで聞きにくい。
- ・ハザードマップを見ながら自分の住んでいる土地を確認できるとよかった（タブレット等で）
- ・資料ありがとうございました。印刷4分割、2分割にするとページが少なくてすむかも。ページ記載あるとわかりやすいかもです。
- ・地表、地質分布図等の資料がカラーコピーの方が解りやすいかな!
- ・配布資料は事前にチェックをお願いします。
- ・うまく運営できている自主防災組織の事例を知りたい。
- ・改善ではないのですが、集まるスタイルではなく地域や学校で講座を開いて頂けたら嬉しいなと思いました。

名護市に当てはまる災害のメカニズムや各地区にどのような災害が起こるのか、大中区・防災士の立場と(株)日本技術開発琉球事務所所長としてこれまでに起きた日本の災害地域を技術者として関わった視点から、名護地域における地形・地質や地区における災害の可能性と発生要因や地域の弱点などを知ること。常に自分の住んでいる地域(区)を歩くときはイメージを持ち、いつもと違う目線で周りを見守り、パトロールする事で、避難路の確保(事前対策)ができることと、また、安全確保されている避難所を確保することの重要性を強く学んだ。

自分の命、自分の安全を守る、自分たちのまちは自分で守るという、「自助」・「共助」の意識を高めることの重要性を強く感じました。

防災講座については、何度でも繰り返して伝えていきたいと感じました。